

Compaction Meister

CCV・表面温度の活用方法



活用（技術）提案

- すぐにでも使える！ 弱部や埋設物の影響を可視化！
- 事前確認があれば！ 転圧不足や過転圧を防止！
- 品質管理と併せて！ 現場試験と併せて、全面管理！
- 初転圧の表面温度をデータ化！

※詳しくは裏面もご覧ください。

活用のポイント

- 均一な品質は、一定の振動、一定の速度、一定の転圧回数によって得られます。
- 一定の締固めエネルギーを加えることで、材料側の不均一性が見えてきます。

活用の効果

- 各層のデータから、下層の影響など場所の傾向が見えてきます。
- 振動数が記録されるので、使用機械のスペックも履歴化されて安心です。
- 強度の均一性を高めると、長寿命化への貢献が期待できます。
- リアルタイムの結果確認で、早期に施工のリカバリーが行えます。
- 初転圧温度の測定が安全に行え、転圧回数と併せて管理することができます。

製品の詳しい情報はホームページをご覧ください。

www.sakainet.co.jp

Compaction Meister

を搭載したときICT建設機械となります

認定番号 2022-36-2-3-4-0

名称 Compaction Meister



はじめよう! CCVを使った技術提案と締固め品質UP!

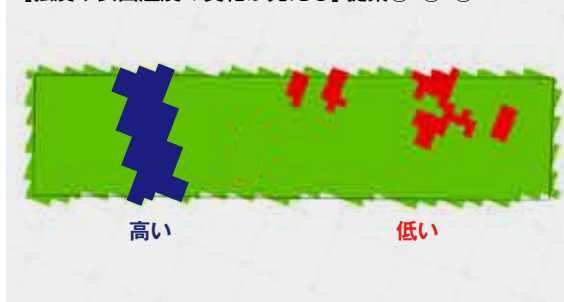
Level 1 弱部等の影響や表面温度を可視化

提案① CCV 値が極端に低い地点に対し、材料や含水比の変化がないかを確認します。
現場判断で材料の入れ替えなどを行います。

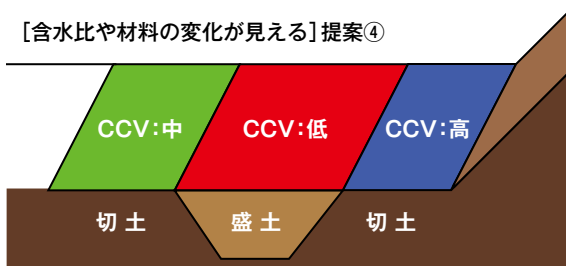
提案② CCV 値が極端に高い地点に対し、鉄板等の埋設物がないかを確認します。
コンクリート製品が埋設されている場合、転圧による破損を防止できる可能性があります。

提案③ 測定者が施工範囲に立ち入ることなく、安全にアスファルト表面温度の表示と記録ができます。
初転圧温度や二次転圧温度に注意しながら転圧作業が行え、初転圧温度の帳票が可能です。

【強度や表面温度の変化が見える】提案①・②・③



【含水比や材料の変化が見える】提案④

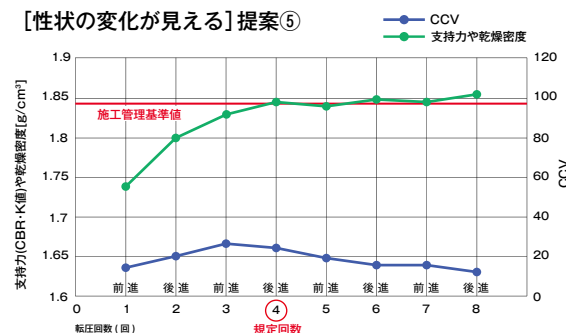


Level 2 転圧不足や過転圧を防止

提案④ CCV 値が低かった地点に対して追加転圧を行い、施工範囲全面の CCV 値が均一に近づくよう施工します。
品質を均質にすることで、構造物の長寿命化に貢献できます。

提案⑤ 転圧回数に伴う CCV 値の推移を確認し、過転圧になっている個所がないかを確認します。
含水比が高めの材料の場合、過転圧になると地盤が緩み CCV 値が減少傾向を示します。

【性状の変化が見える】提案⑤

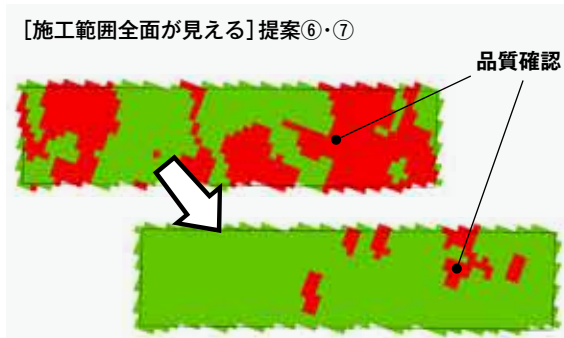


Level 3 現場試験と併せて全面管理

提案⑥ 規定転圧回数時の平均 CCV 値を基準とし、現場全体の何%が基準値を上回っているかを可視化します。

提案⑦ CCV 値が最も低かった地点にて地盤支持力の測定を行い、品質を確認します。
この地点で十分な地盤支持力が確認出来れば、施工範囲全面の品質は十分であると考えられます。

【施工範囲全面が見える】提案⑥・⑦



⚠ 現場密度 = 地盤支持力(強度)ではありません。

CCV (Compaction Control Value) とは?

CCV は、振動ローラの振動を介して「地盤支持力を可視化する装置」で、ローラ加速度応答法と呼称される技術の一つです。
施工現場の材料、厚さおよび含水比等と振動ローラの仕様によって、影響(計測)深さはおよそ 40 ~ 70cm と変化するため、複数層分の地盤支持力を計測します。

そのため、現場 CBR 試験や平板載荷試験などの結果と相関性が確認できない場合もあります。

酒井重工業株式会社

本社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9 TEL.03-3434-3401(代)

札幌営業所 TEL 011-846-8455	大阪営業所 TEL 072-654-3366
仙台営業所 TEL 022-231-0731	広島営業所 TEL 082-227-1166
関東第一営業所 TEL 0480-52-6156	福岡営業所 TEL 092-503-2971
関東第二営業所 TEL 0480-52-6156	グローバルサービス部 TEL 0480-52-1111
名古屋営業所 TEL 052-702-3141	研修センター TEL 0480-52-6964